

林業普及通信



○お問合せ等

所属	所在地	連絡先
福岡農林事務所	〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目8-8 福岡西総合庁舎	092-735-6138
朝倉農林事務所	〒838-0068 朝倉市甘木2014-1 朝倉総合庁舎	0946-22-6585
八幡農林事務所	〒807-0831 北九州市八幡西区則松3丁目7-1 八幡総合庁舎	093-601-5567
飯塚農林事務所	〒820-0004 飯塚市新立岩8-1 飯塚総合庁舎	0948-21-4966
筑後農林事務所	〒833-0041 筑後市大字和泉606-1	0942-52-5188
行橋農林事務所	〒824-0005 行橋市中央1丁目2-1 行橋総合庁舎	0930-23-0388
農林業総合試験場 資源活用研究センター	〒839-0827 久留米市山本町豊田1438-2	0942-45-7868

「第2回伐倒技能選手権大会」が開催される

平成28年10月20日に、福岡県広域森林組合が主催する伐倒技能選手権大会が糟屋郡篠栗町大字萩尾の森林で開催されました。

第2回目となる今大会は、八女森林組合からの参加者を加え、さらに「合わせ切り」も追加種目となり益々盛り上がる大会となりました。(参加22チーム、1チーム3名)。

前回より、①伐倒方向の正確さ、②ユニフォーム等の防護服の充実、③速やかな競技進行、など全体的に選手の伐倒レベルと安全確認意識が向上した競技内容でした。

この選手権大会を機に、安全の意識が森林作業員の方に行きわたり、かつ、安全作業が他の事業体の模範となり、県内で事故のない作業が徹底されることが望めます。



全力を出し切った選手達の清々しい表情



気迫のこもった伐倒作業



新種目 合わせ切り

福岡農林事務所 林業普及活動情報

NO. 4

Tel : 092-735-6138

Fax : 092-712-3485

「福岡市林業振興研修大会」が開催される

平成28年12月9日に福岡市庁舎講堂において、平成28年度福岡市林業振興研修大会が開催されました。

この大会は、2年に一度当農林事務所管内の市町村が主体となり開催し、前回の篠栗町大会に引き続き開催されたものです(参加者約120名)。

福岡市においても木材価格の低迷等から多くの森林所有者が今後の森林の維持管理に不安を持っており利用伐採が進んでいない状況です。

そこで、大消費地福岡市では、地域の木材資源を新たな手法で建築物等に利用し、今後の木材資源の利活用の方向と林業経営について考えようと「都市に森林(もり)をつくる」のスローガンのもと、基調講演とパネルディスカッションが行われました。

基調講演では、遠藤日雄氏(NPO法人 活木活木森ネットワーク理事長)により、消費地福岡都市圏における近未来の木材利用の方向について講演が行われました。また、パネルディスカッションでは木材加工事業体、森林組合、林研グループが取組状況を紹介し、今後の木材利用拡大につながる活発な議論が行われました。



大会全景



パネルディスカッション風景

朝倉農林事務所 林業普及活動情報

NO. 4

Tel : 0946-22-6585

Fax : 0946-21-0049

平成28年度シカ防除研修会（民国連携合同研修会）を開催

シカ被害対策のための標記研修会を、去る11月15日(火)に開催しました。

福岡森林管理署、朝倉地区森林・林業推進協議会、福岡県フォレスター等連絡協議会、福岡県森林プランナーの会の4つの団体の共催で行われたもので、国や県の関係者をはじめ、県内市町村の関係者や猟友会等104名の参加があり、近年のシカ被害に対する関心の高まりを表すものとなりました。当日は東峰村小石原公民館での座学の後、角円国有林内に移動して現地実習を行い、シカ防止ネットやあみ箱ワナ、囲いワナ等の展示や実演などが行われ、参加者には大変好評でした。なお、民国連携しての研修会は昨年引き続き2回目の開催となりました。

研修は、地元東峰村役場から東峰村内におけるシカ被害対策推進のための国との協力体制に対する取組について等の講義に始まり、資源活用研究センター研究員による県内のシカ分布等の講義では、シカの高密度地域が標高の低い区域に移動している状況が報告されました。また、岐阜県から農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーである酒井氏を招き、自身の体験による鳥獣被害対策の取組について、「他人任せにしない」ことや「集落住民総参加での対策が必要」といった鳥獣被害防止5策について熱の入った講義がありました。

今後も主要な課題を題材とした研修会を開催していく予定です。



研修会の状況



「退散鳥獣(タインチョウジユウ)」の実演

朝倉農林事務所 林業普及活動情報

NO. 5

Tel : 0946-22-6585

Fax : 0946-21-0049

農林業総合試験場ふれあいフェスタ： 資源活用研究センターで特用林産物消費拡大運動を実施

去る11月19日(土)に本県農林水産業に対する理解と関心を深めていただくため、農林業総合試験場ふれあいフェスタが開催されました。

久留米会場である資源活用研究センターでは、木の葉を使ったしおりづくりやマイ箸づくり、クリスマスリースづくりチェーンソーアート実演などが行われ、たくさんの参加があり賑わいました。

そのなかで、特用林産物消費拡大運動のため朝倉地区特用林産協議会も出店し、協議会会員が生産した菌床生しいたけと原木生しいたけを試食販売しました。

試食については、炭火でしいたけを網で焼いて、塩こしょう、ゆずこしょう、バター醤油等で味付けしたものを提供しましたが、大変好評であったため、販売についても売れ行き好調で完売となりました。



八幡農林事務所 林業普及活動情報

No. (4)

問合せ先

Tel:093-601-5567

Fax:093-601-8863

平成28年度遠賀地区松くい虫被害対策会議

当会議は、遠賀地区の響灘沿岸松林の関係者が一体となって松くい虫被害を鎮静化していくため、当農林事務所が主催し関係各機関をメンバーに平成24年度から開催しています。

(開催日:平成28年12月13日、於:八幡総合庁舎別館第2会議室、出席者構成:関係市町担当者、福岡森林管理署、自衛隊芦屋基地、九州防衛局、農林事務所、県土整備事務所、県林業振興課造林係、資源活用研究センター)

遠賀地区には薬剤散布など松くい虫防除対策をしている松林が約458haあり、そのうち、約440haが三里松原の国有林、約20haが芦屋町の民有林です。

会議では、各機関ごとの予防事業や駆除事業の実績が報告されました。

本年度は、芦屋町が新たに「無人ヘリコプター」による薬剤散布を実施した事例や、資源活用センターが開発した「筑前スーパークロマツ」より強い抵抗性が期待される「ハイパークロマツ」の苗が植栽に供された事例が報告されました。



遠賀地区松くい虫対策会議(主催者挨拶)



H28年度 遠賀地区の防除種別位置図

木育授業 飯塚市立菰田小学校6年生 『森のいろいろ』

平成28年11月29日(火)に筑豊地区木材協同組合(荒木光子理事長)が飯塚市立菰田小学校で木育授業を行った。農林もこの取り組みを支援するため講師を派遣した。

授業では、森林の働きのみならず、近年頭を悩ますシカ被害などについて、クイズを交えながら説明した。筑豊地区木材協同組合からは、組合の歴史などの話があり、卒業制作の材料としてスギ板が寄贈された。

児童たちからは、森を保全するためのボランティア活動に関する質問が出るなど、一人ひとりが森林について考えることができた。先生からも、林業に関する学習するものの、視点の異なる話を聞くことができたことで大変勉強になったとの感想をもらった。



荒木理事長

『リズムな木』で音を楽しむ

筑後農林事務所 林業普及活動情報

NO.3

問い合わせ先

TEL 0942-52-5188

FAX 0942-52-5994

八女林業の活性化に向けた基盤整備の推進について

8年目を迎えた森林整備加速化・林業再生事業の成果について

八女林業を活性化させるため、平成21年度から8年にわたり森林整備加速化・林業再生事業を積極的に活用し、林業・木材産業等の基盤整備の推進に取り組んできました。

事業では地域ビジョンを作成し、林業機械導入と併せ、間伐等の森林整備を行うとともに、木材加工流通施設等の整備、木質バイオマス利用施設の整備を行いました。さらに生産された木材を利用し木造公共施設等の整備などにも取り組みました。

これまでに9事業種目56件、事業費23億6千万円（補助金11億2千万円）が投入され、管内の木材市場「八女木材共販所」の素材取扱量は、H21年度17,259m³からH28予定33,000m³と大きな伸びをもたらしており、主伐の推進と相まって、地域林業が一層活発化すると期待しています。

例えば、森林内で稼働する高性能林業機械は、ハーベスタ3台、プロセッサ4台、フォワーダ8台、グラップル付トラック2台、グラップル付バックホウ12台ほか計31台が導入されました。

内訳： 八女林業の中核である福岡県八女森林組合 計19台（合併前から通算）

筑後管内の民間林業事業体（6社） 計12台

なお森林組合のうち8台は、民間事業体とのリース契約で導入され、県内では新しい導入方法として、素材生産の協力体制の強化が期待されています。



高性能林業機械ハーベスタ（H26）



22tグラップル付フルトレーラー（H28）



高性能林業機械プロセッサ (H27)



高性能林業機械フォワーダ (H27)



木材プレカット加工機械 (H25)



公立木造図書館 (H25 緑)



木質バイオマス用チッパー (H25 緑)



本年度 33,000m³ を見込む 八女木材共販所

本年度、加速化事業の終了により、林業・木材産業関係の基盤整備推進のハードルが高くなることが予想されていますが、地域における林業基盤整備の事業要望は多数あり、道半ばです。

林業を取り巻く厳しい情勢の中、取り組むべき業務は山積しています。だからこそ林業普及指導活動に求められているものは大きいと感じています。

これまで以上に現場の声を聞きつつ、情報を提供し、地域課題を明らかにしつつ、解決策を提案すること。さらには地域林業のビジョンを再構築することが求められています。

行橋農林事務所 林業普及活動情報

No. 3



〒824-0005
行橋市中央1丁目2番1号
行橋農林事務所 林業振興課

問合せ先
Tel : 0930-23-0388
Fax : 0930-23-7861

行橋の子供たちに「木のおもちゃ」を体験

行橋市では、例年11月に「行橋市産業祭」が開催され、市民の方々に親しまれています。

今回、行橋農林事務所では行橋市役所からの相談を受け、産業祭の「子供向けブース」に「木のおもちゃ体験コーナー」を設け、木材に触れて、その良さを知っていただく試みを行いました。

11月12・13日、天候に恵まれた会場には多くの親子連れが来場され、子どもたちは創作活動に熱中していました。

見守っていたお母様から「木のおもちゃは何処で買えるのですか」といった質問もあり、木材の良さをPRすることができました。



<参考>

福岡県農林水産業・農山漁村振興条例（抜粋）

第六条 県は、第二条に定める基本理念にのっとり、次に掲げる施策の実施に努めるものとする。

十三 教育機関等と連携した食育、木育（木の良さや木材利用の意義を学ぶことをいう）等の推進に必要な施策

福もい通信 No.23

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

鹿児島県 伊佐市 からの視察研修

10月7日 鹿児島県伊佐市竹林整備推進協議会委員 10名 が当センターに視察に訪れました。

メンバーは、伊佐市役所、鹿児島県始良・伊佐振興局、九州経済研究所、葦刈木材工業、タケノコ生産者など多彩で、これから取り組む竹林対策の参考とするために来県されました。

センターでは、

- ①福岡県の竹林の現状及び竹材・タケノコの生産について
 - ②放置竹林対策について
 - ③竹林整備従事者の養成について
 - ④バンブーカッター、竹割機を活用した高効率作業システムについて
- 説明し、最後に竹割機の実演も行いました。

前日には、立花バンブー株式会社 を視察し、竹材の集荷・加工・製品の販売などについて情報収集を行なったそうで、皆様の見聞も広まったようでした。



本県の竹林対策の紹介



竹割機の実演

福もり通信 No.24

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課
Tel : 0942-45-7868
Fax : 0942-45-7901

第2回 伐倒技能選手権大会

10月20日 篠栗町で「第2回 伐倒技能選手権」が開催されました。本大会は、安全作業の意識改善を図るとともに伐倒技術の更なる向上を目指し、実行委員会(事務局:福岡県広域森林組合)主催で実施されています。

1チーム3名で構成され、伐倒競技2名、合せ切り競技1名で競い、今回は、11チームが参加して、佐藤木材チームが優勝しました。

伐倒競技は、スギ(59年生)の立木を目印の風船めがけて、確実かつ安全に伐倒することがポイントになります。ほとんどの選手が、目印の方向には倒すことができるのですが、惜しくも風船に命中せずに、悔しがる選手も見受けられました。

合せ切り競技は、丸太を下からと上から切り、中央でずれないように正確に合せ切ることがポイントです。今回からの競技で、丸太が40cmと太く、制限時間も30秒と短いためか、思うように切れずに苦戦する選手が多かったです。

今回は、管外の福岡県八女森林組合からの大応援を引き連れた参加もあり、大いに盛り上がりました。安全意識の高まりが実感できる非常に良い大会でした。



伐倒競技 (狙いを定めて..)



選手一同

福もい通信 No.25

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

森林環境教育・安全作業技術者養成講習会

10月12日～13日 福岡県林業研究グループ主催による講習会が 添田町で開催されました。

当講習会は、森林内でのボランティア活動を安全に指導できる技術者を育成するために、安全管理とチェーンソーワークを習得することを目的に実施されます。

初日は、チェーンソーのメンテナンス、目立て、丸太切り、2日目は、現地で間伐木を実際に伐採しました。

21名の受講生が参加し、チェーンソーの一連作業を学んでいただきました。

講習の振り返りの時間では、一人ずつ感想を述べていただきました。チェーンソーの基本動作の徹底、安全作業の重要性、間伐木の処理方法などについて特に印象に残ったようでした。

また、林研の講師陣の教え方が丁寧でわかりやすいと、大変評判の良い講習会となりました。



現地で間伐



参加者一同

福もい通信 No.26

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

平成28年度 森林教育研修

小・中学校の教職員等を対象に、森林・林業に関する知識を習得し、その成果を学校教育に活用してもらうこと目的として、「森林環境税」を財源に毎年開催しています。

今年度は、10月29日 篠栗町で ～森林セラピーと森林づくり～ をテーマに研修を行いました。

- ①森林セラピー体験 …若杉山セラピーコース散策、森ヨガ体験
- ②伐採作業現場見学…高性能林業機械(プロセッサ)、新植地(鹿対策施工)
- ③木造校舎見学 …篠栗町立篠栗北中学校(木質化教室)

11名の参加者からは、森林の癒しの効果や木材の温かみに直接触れることができ、大変有意義な研修だとの感想が聞かれました。

本日の内容を参考に、森林や木材の良さを子供たちに伝えていただきたいと思えます。



森ヨガ体験



篠栗北中学校

福もい通信 No.27

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

福岡森林施業プランナーの会主催勉強会

森林施業プランナーが抱える業務課題を解決するため、本県プランナーの会主催による勉強会を11月1日(火)に資源活用研究センターで開催し、森林施業プランナーなど26名が参加しました。

当日は経営計画の策定や現場労務の確保に関する意見交換、林地残材の活用に向けた採材法の研修などを行い、また勉強会後には懇親会も引き続き行われ、普段なかなかできない事業体間での情報交換ができたようです。

限られた時間での勉強会となりましたが、それぞれが地域の実情に応じた解決の道筋を模索し、また努力を行っているように感じました。

しかし労働力の確保など、容易に解決策が見つからない課題も提議され、今後も機会をとらえて開催できればと考えています。



有意義な意見交換の場となった。

福もり通信 No.28

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

民国連携合同現地研修会（シカ被害対策）

シカ被害対策のための研修会を、11月15日(火)に東峰村の角円国有林内などで開催しました。(朝倉地区森林・林業推進協議会ほか3団体による共催)

シカ被害に対する関心の高さから、民国の関係者に留まらず、県内自治体、猟友会など幅広い参加申し込みがあり、最終的には104名の参加となりました。

研修では、民国それぞれからシカ被害の現状と対策(防除、駆除)に係る説明を受けるとともに、実際にあみ箱ワナやくくりワナなどの展示・実演なども行われ、特に外部の参加者には大変好評でした。

また、農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー酒井氏の講演では「被害対策を行政や猟友会など人任せにしないこと。自治会も含めた地元での協力体制が重要。」との話があり、関係者それぞれに思うところがあったようです。

来年度も主要課題をテーマに民国合同での研修会を開催していく予定です。



シカ被害に対する関心の高さから質問も多かった



くくりワナの設置実演。改良の意見も

福もい通信 No.29

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

平成28年度 森林・林業の技術交流発表大会

10月18日～19日 熊本市「くまもと県民交流館パレア」にて、標記大会が開催されました。

当大会は、「流域管理システム推進発表大会」として従前に開催されていたものが、一昨年より衣替えされたもので、今年度は発表数を40課題と大幅に増やし、「森林技術部門」と「森林保全・森林ふれあい部門」の2会場に分けて、それぞれ20課題の発表がありました。

その内、高校生の発表も9課題あり、森林・林業の多岐にわたる課題解決に向けた地域での取り組みが紹介されました。

どの発表も大変興味深く、今後の森林林業の活性化や林業技術の向上に大いに役立つ内容でした。

なお、本県からは、福岡農林事務所 元村 指導員が「福岡の松林の保全に向けて」と題し、松くい虫防除に関する関係者の協働に向け取り組んだ事例の発表で「優秀賞」を受賞しました。



元村 指導員の発表



優秀発表者

福もり通信 No.30

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

ふれあいフェスタ ～久留米会場～

毎年、久留米市山本町「柳坂ハゼ祭り」に合わせて「ふれあいフェスタ」として当センターの一般公開をしております。

今年は「～ふれてみよう！森のめぐみと農のめぐみ～」をテーマに11月19日に開催しました。

当センター職員が企画・運営を行い、手作り感あふれるイベントとなっており、森林・林業関係では、

- 展示ゾーン …パネルや模型の展示、木の葉しおりづくり
- 出展デモゾーン …しいたけ狩り、チェーンソーアート実演、MYはしづくり
- 森林体験ゾーン…森の観察会
- 工作体験ゾーン…クリスマスリースづくり、どんぐり人形
- クッキングゾーン…きのこピザづくり

などのイベントが終日にわたって行われました。

この日は、朝方大雨で天気予報も悪い中での開催となりましたが、1,890名の方々が参加していただきました。

来年もよりよいイベントになりように頑張りますので、是非、足を運んでいただきたいと存じます。



チェーンソー疑似体験



しいたけ狩り



きのこピザづくり

福もい通信 No.31

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

福岡県林業活性化シンポジウム

恒例となった標記シンポジウムを、平成28年11月30日に福岡西総合庁舎で開催し、林業関係者62名が参加しました。

シンポジウムでは、まず各農林事務所の普及指導員から日頃の普及指導に関する実績発表があり、地域の課題解決に向け日々奔走する普及員の姿が垣間見えるようでした。

また記念講演では九州大学大学院の佐藤宣子教授から「自伐林業の意味と可能性～暮らし・地域・福祉～」と題して講演をいただきました。

昨今、「自伐林業」という言葉だけが独り歩きしている感がありますが、佐藤先生からは「自伐林業の本当の意味を考えてもらうことが必要。自伐は山村での暮らし方の選択のひとつであり、福祉の視点も必要だ」とのお話があり、行政として支援のあり方を考える必要があると考えさせられる内容でした。

山村地域にお住まいの方は地域での暮らし方の新たなヒントに、またそれ以外の方も山村への興味を持つことができたのではないかと思います。来年以降もテーマを決め、シンポジウムを継続開催していく予定です。



九州大学大学院佐藤教授による「自伐林業」講演



実績発表者と佐藤教授で記念撮影

福もい通信 No.32

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

福岡県椎茸品評会開催

県では、県産椎茸の生産振興に資するため「福岡県椎茸品評会」を開催しており、今年は11月29日に審査会が行われ、上位3賞には次の方々が選ばれました。

<乾椎茸の部>

農林水産大臣賞：井上 静子 氏(八女市上陽町) 林野庁長官賞：山口 浩志 氏(八女市星野村)

福岡県知事賞：馬場 美喜男 氏(八女市上陽町)

<生椎茸の部>

農林水産大臣賞：井上 美佐子 氏(八女市上陽町) 林野庁長官賞：大神 豊 氏(糸島市)

福岡県知事賞：馬場 美喜男 氏(八女市上陽町)

午後からは、福岡市東区「イオン香椎浜店」にて、出品物や椎茸の発生に使われるほだ木等を展示するとともに、受賞椎茸を含む、当日朝採れたての椎茸の販売を行いました。

展示・販売は、今年からの取り組みでしたが、試食用の椎茸の焼ける香りに惹きつけられたのか、多くの方々に来ていただき、椎茸も完売となりました。

本品評会の目的である「一般県民への認知度向上及び消費拡大」につながる活動となりました。



審査会 (受賞品)



展示・販売会場

福もり通信 No.33

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

女性林業者チェーンソー安全講習会

12月2日 糸島市「ファームパーク伊都国 交流室」にて、福岡県林業研究グループ連合会の主催で、女性を対象にチェーンソーの安全作業の講習会が行われました。

午前中は、室内で、チェーンソーの構造や目立てについての講義と実習、午後からは、糸島市有林へ移動し、実際に間伐作業を行いました。

10名の参加者は、経験の浅い方が多く、初めてチェーンソーに触れる方もおり、午後からの実習では、エンジン音やソーチェーンが目の前で高速回転するのを見て恐怖心を抱く方もおられました。

実際の伐採では、足場の悪い山での作業がいかに危険で大変なのかを実感されていましたが、全員が無事に伐採することができました。

講師は、糸島市林業研究グループ会員並びに県内唯一の女性林業作業員伊藤 里美 さん(福岡県広域森林組合)でしたが、伊藤さんの模範伐採では、その技術の高さに喝采が沸いていました。

参加者は、ボランティアで使用する方が大半でしたが、今後ともそれぞれの立場で、安全な作業に心がけていただきたいと思います。



伐採実習 (受口づくり)



参加者一同

福もい通信 No.34

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課
Tel : 0942-45-7868
Fax : 0942-45-7901

女性林業者体験報告会

12月3日 糸島市「伊都国歴史博物館」にて、福岡県林業研究グループ連合会の主催で、森林・林業に興味のある女性を対象に研修会が行われました。(参加者14名)

午前中は、女性林業者(3名)からの体験報告と意見交換会、午後は、バスツアーで森林林業の関連施設を見学(6箇所)しました。

下記のとおり、盛り沢山の内容でしたが、参加者皆様の見聞が大いに広がったようで、今後の積極的な取組みが期待されます。

<体験報告>

- ①佐藤 香代子 さん … 女性林家(植栽～保育、伐採までを夫婦で実施)
- ②松尾 京子 さん … たけのご生産者(所有竹林が農林水産大臣賞受賞)
- ③畠山 千春 さん … 狩猟女子(糸島市に移住し、シェアハウスを経営)

<施設見学>

古材の森(古民家再生)～杉の木クラフト(木工工房)～糸島応援プラザ(木作家等紹介)～糸島空き家プロジェクト「がやがや門」(古民家の木材の活用)～九大伊都キャンパス(木造3階建て)～木の駅「伊都山燦」(木材のストックヤード)



体験報告者



施設見学(杉の木クラフト)

福もい通信 No.35

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課
Tel : 0942-45-7868
Fax : 0942-45-7901

特用林産物栽培塾

中山間地域で生産される特用林産物につきまして、過疎化・高齢化等により栽培者数が減少しております。新規生産者の育成を目的とした栽培塾が福岡県林業研究グループ連合会の主催で、9月26日～12月9日までの間、3コースに分けて実施されました。

- (1) 原木シイタケ・その他キノコ生産コース(6日間)
 - ・原木の伐採～植菌～仮伏せ～採取 まで
 - ・その他キノコ(ナメコ、ヒラタケ、キクラゲ、クリタケ)の植菌 など
- (2) 竹材利用・タケノコ生産コース(4日間)
 - ・荒廃竹林整備(帯状間伐)
 - ・伐採した竹のチップ処理と散布、施肥、客土 など
- (3) ハゼの実収穫・木ロウ利用コース(2日間)
 - ・ハゼ林及びハゼの実加工場(荒木精蠟)見学
 - ・ハゼの実収穫実習、ハゼの木による木工品づくり など

シイタケとタケノコは例年実施していますが、ハゼコースは今年から始めました。福岡県では、木ろうの生産量が全国1位です。ハゼの生産が途切れないように来年度も行っていくしますので、興味ある方は他のコースを含めて、是非参加願います。



ハゼの実の収穫



和蠟燭を囲んで懇談会 (ハゼコース)

福もい通信 No.36

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

平成28年度 高度架線技能者育成研修

県と一般社団法人 フォレスト・サーベイとの共催で標記研修が12月12日より16日までの5日間 福岡県八女森林組合 黒木出張所 で実施されました。

当研修は、現場で架線作業の実施・指導ができる者の育成のために、生産性を意識した架線計画の立案、安全な架線作業、リーダーシップの養成を目的とした研修で、昨年度に引き続き2回目となります。

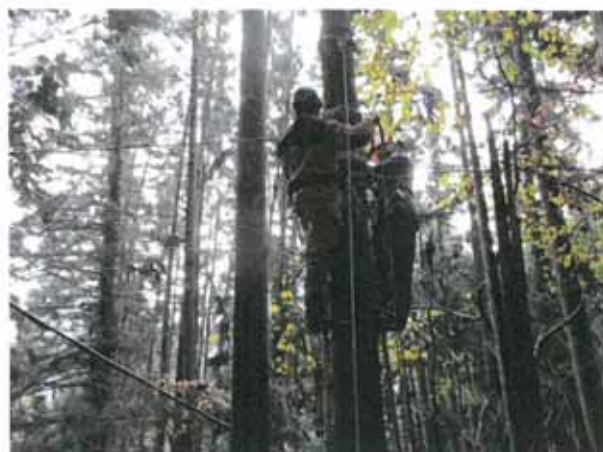
架線計画では、机上計画～現地踏査～計画決定～設計までを行いました。また、元柱設置実習や集材現場見学による意見交換等を通じて安全作業の徹底が図られました。

架線集材は、主伐を進める上で欠かせない作業システムですが、危険が大きく、索張り等に高度な技術を要する作業ですので、安全作業やその技術を継承できる作業員の育成確保が課題となっております。

今回の4名の研修生が、その役割を担って、将来にわたり架線作業に従事していただきたいと願っています。



集材機設置の検討



元柱設置実習